

MESSAGE

北海道の豊かな自然環境を 次の世代へ

北海道ガス株式会社
取締役社長

前 泉 洋 三



私たちが事業を営む北海道は、6つの国立公園と5つの国定公園を有し、四季それぞれの特徴がはっきりとした自然環境に恵まれた大地です。

一方、積雪寒冷という気候特性は、便利で快適な生活を送るために消費するエネルギーの増加につながり、大気汚染や地球温暖化など環境への影響に対する一因ともなっています。

私たちは、北海道の恵まれた自然環境を次の世代に残す責務を負っていると思います。

その一助となる、燃焼時に生成される硫黄酸化物や地球温暖化ガスである二酸化炭素などの排出が少ないクリーンな天然ガスへ、都市ガスを転換する事業を推進しています。この天然ガス転換事業は、今年度で開始以来9年目を迎え、札幌・小樽地区は来年、函館地区も2006年には完了します。また昨年度は、小樽地区への天然ガス輸送の動脈となる「札幌幹線」の完成、当社初のLNG受け入れ基地となる「函館みなと工場」の着工と、インフラの整備が着々と進み天然ガスの供給体制が整いつつあります。

エネルギー利用効率に優れたコージェネレーションシステムの普及促進や将来のエネルギー利用に画期的な変革をもたらすといわれている燃料電池や自然エネルギーを活用した省エネルギー技術の研究開発にも取り組んでおります。さらに、新たな事業として、当社が設置・所有するエネルギー設備で、熱と電気をつくりお客さまにご利用いただくエネルギーサービスプロバイダー事業を行い、省エネルギーと二酸化炭素の削減に努めております。

私たちは、天然ガスの高度利用、ガス機器やエネルギー利用システムの高度化を通じて、環境への負荷を減らし、生活の質を高めながら社会の持続的発展に貢献したいと思います。

また、地域の環境に大きな影響を及ぼしている廃棄物の減量化やリサイクルにも努め循環型社会の実現を目指したいと思います。

私たちは、省資源、省エネルギー、環境保全、安定供給、保安の確保など事業に関わる地道な取り組みを、全社が一体となって継続的に実行していくことが、当社の事業に関わるみなさまの信頼を得、事業の発展に寄与し、そして北海道の恵まれた自然環境を次の世代に残すことにもつながると信じています。

この環境報告書を通じて、当社の環境への取り組みに対し、ご理解と率直なご意見を賜れば幸いと存じます。

2004年9月